

宮崎県紙屋エリアにおける電源接続案件募集プロセス説明会の質疑応答について(2017年3月3日)

説明会において、受領したご意見・質問等と回答となります。
募集プロセスに関連したもののみ掲載しております。

項番	意見・質問等	回答
1	これまで、九州電力へ接続検討の申込みを行い、接続検討回答を受領しているが、募集プロセスに参加する場合は、改めて検討料20万円+消費税等相当額が必要になるのか。それとも、既に検討を行っていることから、検討料は不要で募集プロセスに参加できるのか。	募集プロセスでは、全ての応募者が連系することを前提に改めて接続検討を行うため、別途検討料が必要になります。
2	これまでの「工事費負担金の確定に向けた調整」においては、当該エリアに多数の申込みがあり、必要となる対策工事の総額も高額となっていた。今回の入札対象工事は変電所新設であり、対策工事費が18億円、募集容量が1.2万kWとなっているが、これまで調整してきた事業者を受け入れられる容量になるのか。それとも、継続意思のある事業者に絞り込んだ容量になるのか。また、説明会に参加している事業者が少ないような気がするが、入札が成立する見込みはあるのか。	紙屋エリアの入札対象工事は、「工事費負担金の確定に向けた調整」において最後まで継続を希望された事業者の容量に加え、紙屋エリアで事業の実施を検討している事業者の容量が連系できるように、「工事費負担金の確定に向けた調整」における対策工事をベースに、規模を縮小した工事を提示しています。 なお、今後の応募状況を踏まえて、接続検討の中で最適な対策工事を検討したうえで、接続検討回答時に工事内容等を提示いたします。 【九州電力株式会社より補足回答】 これまでの「工事費負担金の確定に向けた調整」のなかで調整が一部成立したことから系統接続の手続きを進めている事業者がいます。このため、同調整をしていた事業者の一部は本プロセスには応募されないものと考えています。なお、今回の募集容量は、同調整において最後まで継続を希望された事業者の容量が入る規模となっています。
3	募集プロセスの応募電源として想定している事業者は、本日の説明会に来ているのか。	個別の事業者の情報となるため、お答えいたしかねます。